

沖縄県における防犯機器 車載タクシー(タクパト)の 導入について



NO.1

【総務部】

タクパトについて

沖縄総合事務局では、沖縄県における犯罪抑止対策の一環として、地域の安全・安心の確保に寄与することを目的に「沖縄・地域安全パトロール隊」による緊急防犯パトロール(青パト)を実施しています。

さらに、今般、沖縄県における犯罪抑止対策の新たな取組として、一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会及び沖縄県警の協力のもと、防犯機器車載タクシー(通称・タクパト)を導入しました。

タクパトは、県内を走行するタクシーにドライブレコーダーや通信機能を持たせた車載コンピュータシステムを搭載して、走行中に事件・事故に遭遇した際、タブレットの画面をワンタッチするだけで画像や位置情報を県警に通報することができます。

このような走行中のタクシーから車載コンピュータを使って事件・事故の通報の迅速化を図る取組は、全国で初めてです。

緊急通報 人に危害が及んでいるところを発見

通報

緊急通報

県警通信司令課(110番)
(画像と位置情報を通知)

通報 不審者等を見発見

通報

緊急通報

通報内容、6つの中から選んで、ボタンを押下

県警通信司令課(110番)(位置情報を通知)

通報の流れ

タクパト出発式

平成30年8月29日 能登局長、東江ハイヤー・タクシー協会会長挨拶の下、出発式を行いました。

効果

タクパトを導入することにより、左記の効果が見込まれます。

- 事件・事故の通報の迅速化
走行中のタクシーが不審者などを発見した際にワンタッチで位置情報などを通報することができ、事件・事故の通報の迅速化が図れます。
- 犯罪抑止効果
タクパトの取組について、広く周知することにより、「タクシーが事件・事故を見ている」ことで犯罪抑止効果が期待できます。

- 事件捜査に寄与
最近の事件捜査において、防犯カメラなどの画像が事件解決に大きく寄与していることから、タクパトの画像を県警に提供することにより、事件捜査に寄与することができます。

現在、約400台のタクシーで、沖縄本島中南部地域を中心に試験的に運用していますが、今後、増車して、先島地域を含む沖縄県全域に拡大して運用する予定です。

当局では、引き続き、沖縄県における犯罪抑止対策に努めてまいります。

総務部 安心・安全対策推進官
☎098-866-10066